

キウイフルーツかいよう病緊急防除対策事業の概要

I 目的

4月23日に西条市（旧東予市、丹原町）で発生したキウイフルーツかいよう病は、国内初発生 of 系統「Psa3 型」であった。今回判明したかいよう病菌はヨーロッパやニュージーランドで大きな被害の原因となった系統で、従来型に比べて病原性が強く、感染したキウイフルーツは枯死する可能性が高いと言われている。

このため、県として本県キウイフルーツを守り、産地の維持及び生産農家の経営安定を図るため、発病園地等の緊急伐採と応急薬剤散布に要する経費を補助し、本病の感染拡大防止を図る。

II 事業内容

1. かいよう病発病園地伐採支援対策費

新系統 Psa3 発病園地及び周辺園地の伐採に要する経費の補助

2. かいよう病被害拡大防止対策費

伐採園地を除く県内栽培園地の薬剤散布に要する経費の補助

III 事業費

事業経費 51,970 千円

助成額 21,377 千円

負担区分：伐採 県 1/2、市町 1/4、農業団体 1/4

防除 県 1/3、市町 1/3、農業団体 1/3

※本事業は、Psa3 型が確認された 5 月 2 日より適用する。

IV 事業主体：市町

事業実施主体：キウイフルーツ産地の農業協同組合

Psa3系統におけるキウイフルーツかいよう病について

1 発生状況

5月2日に公表した発生面積6園地94a

5月2日時点で検定中であり、5月3日に検定確定したもの4園地114a
(合計10園地208a)

2 本病の特徴

(発病部位)

枝、葉、新梢、蕾などほとんどの部位(果実には発病しない)

(感染時期)

・気温15~25℃となる秋期から6月頃まで

(期間の強風雨は発生拡大の主原因となる)

・25℃を超える時期(7~9月頃)は、感染・発病することは少ない。

(主な感染源)

・発病葉や発病樹から浸出した病原細菌が風雨により飛散して感染する。

・ハサミや鋸などでも伝染するが、土壌伝染はしない。

3 キウイフルーツへの影響

感染後直ちに枯死に至るわけではないが、平成13年度より導入されているゴールドキウイ産地では、罹病性であるため経営上の脅威となっている。

○「ヘイワード」

一部の枝枯れを起こすが、樹全体が枯死することはない。

○「ホート16A」(ゼスプリ)

罹病性であるため被害が激しい。

(病徴)(撮影日:丹原町長野 26. 4. 24)



枝の変色(赤褐色) 新芽の萎ちよう・枯死



葉の病徴

4 キウイフルーツかいよう病の病原菌における系統別特徴

系統名	県内における状況		世界における状況		発病部位			病原性の強さ
	発生市町	確認年	発生国	確認年	葉	蕾	枝	
Psa1 (従来型)	松山市	2000年	日本	1980年頃	●	●	●	強い
	伊予市							
	砥部町							
	大洲市	2013年						
Psa2			イタリア	1992年				
			韓国	1980年代後半	●	●	●	—
Psa3	Psa: <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>actinidiae</i> の略称	2014年 西条市、今治市で発生	イタリア	2008年	●	●	●	非常に強い
			フランス	2010年				
			ニュージーランド	2010年				
			チリ	2010年				
			中国	1984年				
Psa4			ニュージーランド		●	—	—	弱い
			オーストラリア	1990年頃				
Psa5			日本(佐賀県)	2010年	●	●	●	やや弱い

キウイフルーツかいよう病発生状況及び伐採進捗状況

5月8日現在

No.	筆数	市町名	品種	Psa3確定状況			伐採完了日
				現地確認日	検定確定日	確定面積(a)	
1	1	西条市	レインボー	4月23日	5月2日	10	5月4日
2	1	西条市	レインボー	4月23日	5月2日	30	5月3日
3	2	西条市	ゴールド	4月28日	5月2日	7	5月6日
4	1	西条市	ゴールド	4月28日	5月2日	30	5月9日、10日完了予定
5	1	今治市	ゴールド	4月28日	5月2日	5	発病樹伐採
6	1	今治市	ゴールド	4月28日	5月2日	12	5月9日完了予定
7	7	西条市	ゴールド	4月28日	5月3日	60	5月4日、6日
8	5	西条市	ゴールド	4月28日	5月3日	30	5月8日
9	1	西条市	ゴールド	4月28日	5月3日	10	5月10日完了予定
10	1	西条市	ゴールド	4月28日	5月3日	14	5月8日

計 21

208 a

(うち伐採完了151a)